

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立田代小学校
校長 黒田 清隆

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語科について

- ・ 国語の平均正答率は、全国正答率をやや下回っていました。記述式の問題については大きく下回りました。自分の考えを表現することに困難さを感じている児童が多いため、授業の中で、意見をもつと共に、考えをまとめ、記述する場を設け、自分の考えを表現する力を高めていくようにします。
- ・ 観点別に見ると、「知識・技能」および、「思考・判断・表現」について、全国正答率を下回りました。領域別では、「情報の扱い方に関する事項」については、全国正答率を上回っていました。しかし、「言語の特徴や使い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で、全国正答率を下回っていました。特に、「我が国の言語文化に関する事項」については、全国正答率を大きく下回っていました。読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いていない児童もいるため、図書室を積極的に活用させたり読書の幅を広げさせたりして、日常的に読書に親しませ、文章を読み解く力を付けさせていきます。

(2) 算数科について

- ・ 算数の平均正答率は、全国正答率を下回りました。記述問題での無解答率が高く、グラフを活用して考えをまとめたり深めたりすることに課題があることが分かりました。
- ・ 観点別では「知識・技能」「思考・判断・表現」については、全国正答率を下回りました。

領域別では、特に「図形」、「変化と関係」、において、全国正答率を大幅に下回っていました。「図形」については、球の直径の長さや立方体の一辺の関係を捉えることができていなかったため、「直径」や「半径」、「一辺」の長さがどこの長さになっているかなど、言葉の意味をしっかりと理解させ、その単元の学習が終わっても、適宜復習させ、学習内容の定着を図ります。「変化と関係」においては速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考えることに課題が見られました。特に、文章問題では、図や式、言葉を使って説明する力を身に付けさせるようにします。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全 63 の質問項目から、全国と比較したときに概ね良好(同等かそれ以上)な結果であった項目(一部)について

質問項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
朝食を毎日食べていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	95.6%	93.7%
人が困っているときは、進んで助けていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	97.1%	92.7%
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	98.6%	96.7%
学校に行くのは楽しいと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	92.6%	84.7%
友達関係に満足していますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	97.0%	91.1%
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	95.6%	93.2%

- ・朝食を毎日食べている児童は、全国を上回っていました。ご家庭での生活習慣が身に付いている結果となりました。引き続き、「朝食」をとる習慣の定着へご協力をお願いします。
- ・進んで助けることや、いじめに対する意識が全国より高い結果でした。また、学校に行くことが楽しいと思う児童や、友達関係に満足している児童も全国より多い結果でした。今後も道徳科の学習を中心に、心の教育の充実を図っていきます。
- ・国語科では、授業での学習に対する意識が高い結果となっています。家庭学習とのつながりも大切にしながら、今後も、学んだことを生活に生かせるように指導していきます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

児童がより主体的に学ぶことができるよう、児童同士の話し合い活動の場のもち方を工夫し、積極的に発言ができるような授業づくりを継続して行います。また、タブレット等の ICT 機器を活用し、児童が意欲的に学習に取り組むようにしていきます。

- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習環境を整え、学習時間を確保してください。

- ◎学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビやゲームの時間やルールを決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎興味があることは、資料やインターネット等で調べ、深く学習してみましょう。
- ◎学期のはじめにお渡しした学習の手引きを、ぜひ活用してください。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。
- ◎会話を多くもち、小さな「がんばり」をほめましょう。
- ◎家族の対話を大切にしましょう。